

令和7年度 地域連携推進会議  
社会福祉法人 むさしの郷 むさしの青年寮

<事前見学会>

日時 令和7年10月9日(木) 10:00~11:30  
出席者 東松山市障害福祉課職員 NPO法人代表理事  
見学場所 居住棟の様子を見学  
日時 令和7年10月11日(土) 10:00~11:00  
出席者 利用者ご家族 町内地域住民  
見学場所 居住棟の様子を見学

<会議>

日時 令和7年10月21日(火) 10:00~11:30  
場所 むさしの青年寮相談室  
出席者 ご利用者2名 利用者ご家族 東松山市障害者福祉課職員 NPO法人代表理事 地域住民  
施設長 サービス管理責任者

<議題>

1. 施設見学 日中活動の様子を見学
2. 施設長挨拶 施設長から開会の挨拶、地域連携推進会議の趣旨と重要性の説明
3. 参加者 出席者全員が自己紹介を行う
4. 施設長から施設の概要説明(資料説明)  
事業内容、利用者支援(日常生活/日中活動/行事/健康管理等)、管理運営(人材育成/事故・ヒヤリハット/防災等)、利用者の年齢構成や障害支援区分、在籍年数等の説明
5. 質疑応答

主な意見・内容(要約)

○先日、鶴ヶ島市の老人ホームで起きた事件があったが、これまでに不審者が施設に入ってくることはなかったか。  
→ 過去には酒に酔った方や、道を尋ねる方が夜間に敷地内に入ってこられることがあったが、門やフェンスを設置してからはない。

○外部からの侵入に備える危機管理のマニュアルはあるか。  
→ ある。不審者に対応する際のマニュアルを作成している。また、アルソックへの通報装置、さす股の設置、年に1回防犯に関する研修を実施している。

○ファミリー毎に分かれて生活されているが、他のファミリーの利用者との交流はあるのか。  
→ 日中活動(作業班)では、色々なファミリーの方が一緒に活動を行っている。全体の行事、音楽イベントや夏祭り、ハロウィンイベントなどでは、利用者皆さんと一緒に集まって行っている。

○利用者さんにお聞きしたい。仕事以外に好きなことは何か。  
→ ・外に行って花に水をあげたりすること。  
・おやつ外出やおやつ作りが好き。本を見て作るおやつを皆と決めている。行事だったら1年に1回だから日帰り旅行が楽しみ。

○コロナ禍以降、利用者とご家族との関わりはどうか。  
→ 帰省、ご面会、外出への制限は設けていない。それぞれのご都合に合わせて行っていただいている。

○今回の地域連携推進会議はどこに報告するのか。

→ 議事録を作成し、法人ホームページに載せて公表する。また3年に一度の県の監査で確認があると思う。

○成年後見人、何人くらいしているか。

→ ご家族やご親戚の方が後見人となっている方が多い。第三者が後見人となっている方は数名である。今後は施設側から働きかけていくことが今以上に必要になると思う。

○利用者の方の年齢が上がってくるが、希望すればここでずっと生活ができるのか。

→ 熊谷市にむさしの郷が運営するながい寮という施設があり、そちらではご高齢になられた人や身体機能の低下により介助が必要になられた方が多く生活されている。建物や設備もそうした方たちが安全に生活を送ることができるようになっており、むさしの青年寮からながい寮に住まいを移すことができる。

○施設長より地域住民の方に、ご近所に迷惑をおかけしていることがないか尋ねる

→ 迷惑と感じることはない。時々「今日は大きな声が出ているな」と思うけれど迷惑とは思っていない。また、利用者さんが散歩をしているところに時々行き会って挨拶を交わしている。何かで年に1回会うよりも日常的に10回会うほうがお互いよく分かる。顔を合わせることが大切なので、散歩はとても良いと思う。

会議終了